

社会生活やコミュニケーションに不安がある人に対して、基礎能力の習得に向けて支援を行いました。就労準備支援員と自立相談支援員が連携し、定期的に地域に出向き相談窓口を開設するなど、個々のケースにあった就労支援に取り組みました。

プラン7 防衛省自衛隊と連携した市民の安心安全

①高齢者運転免許証自主返納支援事業 ▶ 1,450千円
事故減少への取り組みとして、高齢者の運転免許証自主返納を促すため、県の高齢者運転免許証自主返納等支援事業補助金を活用し、高齢者の運転免許証自主返納者へ交通系ICカードを交付しました。

②消費者行政・啓発事業 ▶ 6,711千円
太宰府市消費生活センターや消費者安全確保地域連絡会議などを通じ、消費者トラブルに関する相談、情報共有、連携を図り、消費生活上のトラブルの解決、未然防止につなげました。

その他 第五次総合計画 後期基本計画に基づく事業

①飼い主のいない猫不妊去勢手術費補助事業 ▶ 325千円
飼い主のいない猫の繁殖に伴うふん尿、ごみを荒らすなどの近隣被害・迷惑を低減させ、市民の動物愛護および共生意識の高揚と、快適な生活環境の保持のために、飼い主のいない猫不妊去勢手術費補助事業を実施しました。



②人権政策事業および男女共同参画推進事業 ▶ 10,785千円
「人権尊重のまちづくり推進基本指針」を基本とし、家庭、職場、学校、地域などあらゆる分野を通じて人権尊重の理念を普及し、理解を深めていただけるよう、教育および啓発を学校教育課、社会教育課と連携を図り取り組みました。また、「第2次太宰府市男女共同参画後期プラン」に基づき、固定的な性別役割分担意識の解消、ワーク・ライフ・バランスの推進、配偶者などからの暴力の根絶、女性の活躍推進などに取り組み、社会のあらゆる分野で男女が共に参画できるまちづくりを進めました。

③ICT推進事業 ▶ 272,224千円
国の施策や動向、市民を取り巻く環境の変化などを踏まえたうえで、電算システムの安定稼働に努めました。情報セキュリティ分野では、セキュリティ事故を未然に防ぐために、人的・技術的・物理的セキュリティ対策を組織的に講じ、更なる安心・安全なICT環境の実現に向けて取り組みました。

るとともに、持続可能で安全、便利なコミュニティバスの適正運行のための課題解決に向けて取り組みました。地域サポートカー3路線については、利用者の要望に応え、利便性向上などを総合的に勘案したダイヤ改正へ向けた検討を進めました。



②史跡指定100年記念事業 ▶ 3,622千円
大宰府政庁跡、水城跡が史跡として国内初の指定を受けてから令和2年度で節目の100年を迎えることから、記念事業として梅花の宴再現、中西進先生の講演会を実施し、記念フォーラムとしてロバートキャンベル氏の特別講演とシンポジウムを実施しました。次なる100年の史跡など文化財の維持保存、先進的活用に関する文化財保存活用地域計画策定のため、策定協議会を開催しました。

プラン5 環境重視の逆転発想で渋滞解消

①渋滞解消調査事業 ▶ 935千円
坂本地区を中心とした大規模住宅開発事業に伴う交通量増加への対応として、道路新設などの検討の基礎資料とするため交通量調査を実施しました。

②市道整備・管理事業 ▶ 274,627千円
通行車両による騒音や振動を軽減し、舗装版の不陸がなくなり歩行者が通行しやすくなるよう、舗装個別施設計画に基づき、劣化している舗装の表層の改修事業を行いました。また、社会資本整備総合交付金を活用し、道路橋梁などの「既存施設の長寿命化の推進」「通学路における安全対策の推進」「道路交通の円滑化、安全性・快適性の向上を図る整備」などを行うことで、道路を通行する市民の安全確保を図りました。



プラン6 民間の知恵を生かした高齢者福祉

①地域包括支援センター運営事業 ▶ 45,024千円
利用者の利便性に配慮するとともに高齢者の視点に立ち、よりきめ細やかな対応をするため、地域包括支援サブセンターを開所しました。地域ケア個別会議、地域との交流会や学習会、関係機関との連携を図り、ネットワークの構築を行いました。新型コロナウイルス感染症予防に努めながら、訪問による実態把握を行うなどアウトリーチ型の相談体制を継続しました。

②就職氷河期世代対策事業 ▶ 4,870千円

令和2年度 決算の報告

令和発祥の都太宰府！主な事業

問い合わせ 経営企画課 企画政策係(☎内線535)

令和還元予算に沿って、次のような事業を行いました。令和2年度に行なった事業の決算を、P6～P18の特集でお知らせします。

め、子育て世代包括支援センターを開設し、公募により「うめっこテラス」という親しみやすい愛称が決定しました。



プラン3 徹底した行革と超成長戦略で財政再建

①ふるさと納税事業 ▶ 258,845千円
令和発祥の都太宰府らしい新たなふるさと納税返礼品を更に充実させ、積極的宣伝を図るなどして、寄附金額が前年度比1.5倍に増加しました。また、新型コロナウイルス感染症被害支援のためにクラウドファンディング「太宰府Beautiful Harmonyファンド」を実施し、財源の確保を図りました。

②計画的な公共施設整備事業 ▶ 179,718千円
公共施設整備基金の継続的な積立てを行いつつ、再編のありかたについて検討を進めました。「いきいき情報センター」の利活用については、民間事業者などのアイデアや意見を幅広く把握するため「サウンディング型市場調査」を実施するとともに条件の整理を行い、公募を実施しました。

③がんばる中小企業応援事業 ▶ 1,772千円
更なる経営の向上を図ることを目的として経営革新計画を策定し、新たな事業活動に取り組む事業者に対し、その要する費用の一部を助成する「がんばる中小企業応援事業補助」制度を新たに創設し、商工会と連携して補助を行いました。

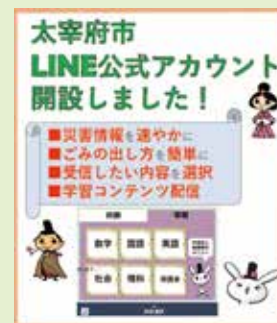
④都市計画調査事業 ▶ 935千円
西鉄五条駅周辺のまちづくりについて、関連計画の整理や現況の把握、分析などを実施しました。その上で、今後の活性化に向けて、新しい生活様式の視点も踏まえて、課題を抽出しました。

プラン4 積極的広域連携による大太宰府構想

①コミュニティバス運営事業 ▶ 160,274千円
まほろば号8路線と地域サポートカー3路線を運営す

プラン1 市民参画の行政、街づくりで地域創生

①広報戦略関係事業 ▶ 12,988千円
ホームページやフェイスブック、広報だざいふなどによる情報発信を充実するとともに、LINE公式アカウントの運用を開始し、秘書広報機能のさらなる充実強化を図りました。また、朝のあいさつ運動や年度末繁忙期の土曜開庁の拡大も引き続き実施しました。



②まちづくりビジョン会議事業 ▶ 370千円
産官学などの有識者からなるまちづくりビジョン会議を定期的実施し、ダイナミックな事業展開を図るための具体的提案を受け意見交換を行いました。

プラン2 学問の神様にふさわしい教育、子育て

①学校ICT環境整備事業 ▶ 462,124千円
「GIGAスクール構想」の具現化のため、児童生徒1人1台のタブレット端末の整備、校内ネットワーク整備などのICT環境を整備しつつ、専門性をもったICT支援員を配置し、教職員の研修や授業のサポートを行うことにより、児童生徒の情報活用能力の育成と更なる学力向上を図りました。

②保育所など新規採用保育士家賃助成事業 ▶ 1,290千円
私立保育所および小規模保育施設に勤務している新規採用3年目までの保育士で、市内の賃貸住宅に居住している人に、家賃の一部を助成することで離職防止と、安定した保育士確保につなげ、弾力的な児童受け入れ数の確保に努めました。

③子育て世代包括支援センター開設準備事業 ▶ 9,590千円
妊娠期から子育て期にわたるさまざまなニーズに対し、切れ目なくサポートし総合的相談支援を提供するた